

## 国・行政のあり方に関する懇談会の取りまとめの普及・展開方策

### 1．趣旨

少子高齢化や人口急減等が進んでいくなか、行政改革を着実に実施していくためには、今後の社会や行政のあり方について、将来を見据えつつ、広く国民の間で議論を行っていくことが重要である。

国・行政のあり方に関する懇談会（以下、懇談会）では、危機的な財政状況や地域社会の衰退等が進む中で、持続的な社会であるためには、行政と国民の関係はどうあるべきについて議論を行い、本年6月に目指すべき社会像について取りまとめを行った。

今後の行政のあり方の検討に活用するため、懇談会の成果を用い、地方や女性・若者を含め広く議論を行っていくこととする。

### 2．今後の進め方

行政改革推進本部事務局員が全国の大学、各団体などを訪問し、懇談会の取りまとめを用い、今後の社会や行政のあり方について意見交換を行う。

意見交換の様子は事務局で整理の上、懇談会のホームページで公開する。また、年度内を目途に各地での意見交換の成果を行政改革推進会議の民間有識者に報告する。

（具体的なスケジュール）

9月16日：東京大学（実施済）

10月9日：お茶の水女子大学（実施済）

10月14日：READYFOR? Award（実施済）

11月16日：日本評価学会

日時未定：成城大学、信州大学、国際基督教大学（ICU）

フェリス女学院大学、慶應大学・東京大学有志勉強会他